

夏冬の温度差 50℃以上・・・

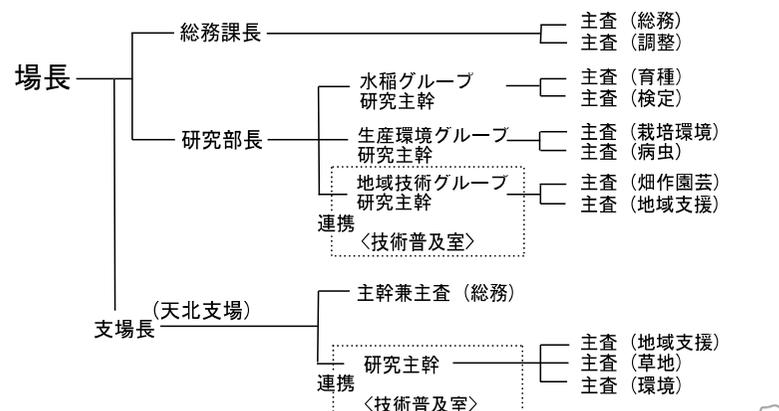
広い大地と冷涼な気候を活かして、人と自然に優しい農業を目指して

当場は1886年（明治19年）に忠別農作試験所として創立され、1904年から90年間、旭川市永山で試験研究を行いました。その後1994年に士別市にあった畑作・園芸科を統合し、現在地の比布町に移転しました。さらに2006年の機構改正では、浜頓別町の天北農業試験場が廃止され、上川農業試験場天北支場となりました。この間「きらら397」、「ほしのゆめ」、「ゆめびりか」、「きたゆきもち」など多くの水稻優良品種を育成、また栽培技術の改良を続けて北方稲作の安定化に貢献するとともに、減化学肥料・減農薬によるクリーン農業の推進や畑作・園芸に関する試験研究を進めて来ました。

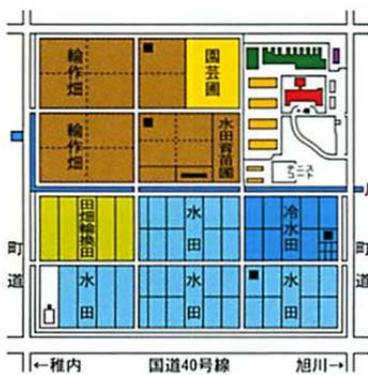
2010年4月に22の道立試験研究機関が統合し、地方独立行政法人北海道立総合研究機構（道総研）として発足しました。上川農業試験場は北海道立総合研究機構の一員として、道民生活の向上や道内産業の振興のため試験研究に取り組んでまいります。

上川は夏と冬の寒暖差が50℃以上、北海道の屋根である大雪の麓で、石狩川の水源に恵まれた地域です。このような環境の中で、地域循環型、持続可能な農業など北海道の気象条件や自然資源を有効に活用した試験研究を進めてまいります。

〈上川農業試験場機構図〉



地方独立行政法人  
北海道立総合研究機構  
農業研究本部所属機関一覧



- 庁舎
- 温室・人工気象棟
- 調査・作業棟
- 昆虫飼育実験棟
- 精密枠試験圃
- 圃場内施設

※参観・視察等のご希望は下記までお申し込みください。圃場参観時間は、原則火曜日～金曜日、午前9：00～午後4：30でお願いいたします。



地方独立行政法人北海道立総合研究機構  
農業研究本部 上川農業試験場

〒078-0397 北海道上川郡比布町南1線5号  
TEL. 0166-85-2200 FAX. 0166-85-4111  
ホームページ URL  
<http://www.agri.hro.or.jp/kamikawa/index.html>



地方独立行政法人  
北海道立総合研究機構



圃場および施設

田・畑	面積 (ha)
田	9.99
畑	7.81
建物敷地	4.83
その他	5.77
計	28.40

●上川農試へのアクセス



農業研究本部

上川農業試験場

## ■水稲グループ

●よりよい新品種を目指して  
限りない努力は続く

新しいお米の品種を作るには毎年100種類もの交配と数十万個体の栽培、そして収量、耐冷性、耐病性、食味などさまざまなテストと、7～8年もの年月がかかります。たくさん穫れて、寒さに強く、栽培しやすく、もちろなおいしい、そんな品種を一日でも早く生産者や消費者にお届けするため、さまざまな工夫をしています。



交配作業

○特性検定試験

・冷水田や人工気象室で寒さに強い稲や、低温でも苗立ち性の良い直播向きの稲を選抜します。また、いもち病などの病気に対する抵抗性を検定しています。



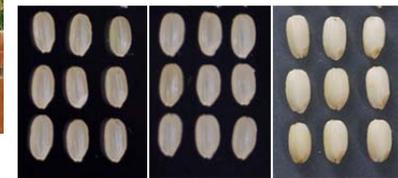
冷水田で寒さに強い稲を選ぶ



いもち病に強い稲を選ぶ

○良食味育種

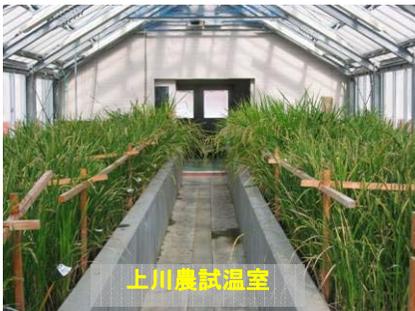
・各種の食味分析装置を用いて、おいしいお米を選抜。目標はズバリ“コシヒカリ”。また、府県産に負けない良質もち品種の開発も進めている。



ほしのゆめ (H8)    ゆめぴりか (H19)    きたゆきもち (H21)



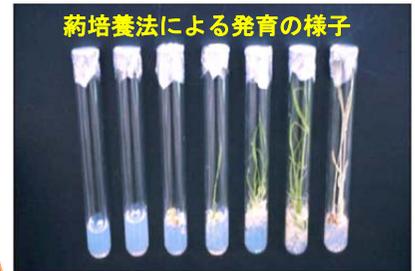
オートアナライザー  
(食味の良い稲を選ぶ機械)



上川農試温室

○薬培養法

・薬（やく）とは、おしべの先の花粉が詰まった袋のこと。花粉からすぐに固定システムを作り出す薬培養法は、育種家にとって理想のバイオテクノロジーといえます。



薬培養法による発育の様子

## ■生産環境グループ

●栽培環境研究

- ・おいしいお米を作る  
良食味米を作る土壌条件を解明し、施肥方法を開発します。
- ・手間をかけずにお米を作る  
省力で低コストなお米の栽培法を開発します。
- ・環境負荷の軽減  
環境への負荷を減らし、持続的な農業を確立します。
- ・生産基盤改善技術の確立  
畑作物、野菜に適した土壌改良、肥培管理技術を確立します。



水稲湛水直播栽培



土壌分析



用途に適した農産物生産

●病虫害研究

- ・クリーン・有機農業技術の開発  
病虫害の発生状況に応じて、天敵や生物農薬を利用する減農薬栽培技術の開発や、生産者が行える病虫害の簡易診断法の開発により、安全・安心なクリーン・有機農業の発展に取り組んでいます。
- ・作物のお医者さん  
病気や害虫の診断をし、治療（防除法）をアドバイス。
- ・病虫害の発生予察調査  
病虫害の発生時期や発生量を予測し、効率的な防除に役立ててもらいます。



カメムシ



斑点米



いもち病



イネトロオイムシ



YES!  
clean



予察灯



アワヨトウ



すくい取り調査



黄色水盤

## ■地域技術グループ

○地域の気候に適した品種を探し出す



秋まき小麦

上川・留萌地域の気候に適する畑作物（麦類・豆類・ばれいしょ・てんさい・とうもろこし）及び園芸作物（メロン・いちご・たまねぎ）の品種を選定します。

○地域で問題の病気に強い小麦や小豆を作出する

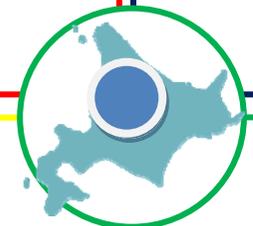


小麦の雪腐病



小豆の萎縮病

上川・留萌地域の問題病害に強い小麦や小豆を選び、新品種の開発に役立てます。



○地域の気候を活かした栽培法を確立する



食用かぼちゃ種子



トマト高糖度栽培法

昼夜の温度差や冬の雪や寒さの利用、夏の暑さの克服など、上川・留萌地域の気候を活かした畑作物や野菜の栽培法を開発します。

○地域の様々な問題へ迅速に対応する



技術体系化試験の実施



かぼちゃつる枯病対策

技術普及室と連携して情報の素早い伝達、地域課題の早期解決、農業経営等の総合的な改善、地域の振興を支援します。